

会 議 録

会議名称	令和3年度 第2回加古川市スポーツ推進審議会
開催日時	令和3年12月20日(月) 午後7時から午後8時10分まで
開催場所	加古川市立勤労会館 201 会議室
出席者	<p><委員> 森田会長、中谷副会長、矢野委員、戎木委員、破魔委員 小寺委員、長谷中委員</p> <p><市> (市民協働部) 田中部長、福島参事 (スポーツ・文化課) 井上課長、小口担当副課長、高橋係長 荻内担当係長、垣内書記 (学校教育課) 真鍋担当課長、大西指導主事</p>
会議次第	<p>開 会</p> <p>1 会長あいさつ</p> <p>2 部長あいさつ</p> <p>3 委員紹介</p> <p>4 審議事項</p> <p>(1) 加古川市スポーツ推進計画中間評価に係る市民調査について</p> <p>5 報告事項</p> <p>その他</p> <p>(1) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に係る本市の取組結果について</p> <p>(2) 水上スポーツの取組について</p> <p>(3) 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について</p> <p>6 その他</p> <p>閉 会</p>

審議内容(発言者、発言内容、審議経過等)	
開 会	
1 会長あいさつ	会長あいさつ
2 部長あいさつ	部長あいさつ
3 審議事項 (事務局)	(1) 加古川市スポーツ推進計画中間評価に係る市民調査について <事務局説明>

(会長)	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響によるスポーツ実施環境の低下から、令和4年度に計画策定から5年目を迎える加古川市スポーツ推進計画の中間評価に係る市民調査実施時期について、令和5年度以降に延期してはどうかとの説明があったが、これについて何か意見はあるか。</p>
(委員)	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響による外出の自粛制限や、市内の主要な体育館が新型コロナウイルスの予防接種により長期間使用でなかったことで、スポーツの実施が制限されていたため、適正なスポーツ実施率が把握できない可能性がある。市民調査実施時期の延長もやむを得ないのではないか。</p>
(委員)	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、スポーツ推進計画に掲げるスポーツ実施率が一時的に低くなるのはやむを得ないことだと思う。コロナ禍の生活が当初考えていたよりも長期間に亘って続きそうな状況であり、中間評価に係るアンケートも来年度から実施を延長したからとっていつ実施できるのか先が見えない。今回は中間評価に係る市民調査の実施を延期したとしても、普通に生活することができるようになるまでの期間、どのようにスポーツを実施することが求められているか等を把握するようなアンケートを行ってはどうか。</p>
(委員)	<p>障がい者スポーツに関わっているが、新型コロナウイルスのために多くの大会が中止となっている。また、トップアスリートを除いた一般の方は、まだまだ感染を警戒しており、スポーツ施設に行くことができないというのが現状である。マスクをしていないと周りの目が気になり、実施できないというのもスポーツから遠のいている要因であると思う。長期間の計画の中で、コロナの影響を除いた正確なスポーツ実施率が把握できないというのはそのとおりだと思う。</p>
(副会長)	<p>実施時期については、コロナ禍の現状の数値を把握したいのか、スポーツ推進計画の達成度を把握したいのか、今回の市民調査をどういった目的で行いたいかによると思う。中間評価に係る市民調査とは別に、コロナ禍の中で市民の皆さんがスポーツを再開するためにはどうしたら良いのかを知るためのアンケートをするのも良いのではないか。</p>
(委員)	<p>中体連としては、教育活動でもあるので非常に慎重な対応をしながらスポーツ活動をしているような状況である。コロナ禍の中で、市民がどれぐらいスポーツを実施できているのか、いないのか、普段通りの活動ができないなかでどのような工夫をされて実施されているのかを知り、分析を行</p>

	<p>い、その後の対策に繋げていくことが大切であると思うので、市民調査は実施すべきだと思う。</p>
(委員)	<p>先ほどのご意見でもあったように、中間評価に係る市民調査の実施時期については、コロナ禍の現状の数値を把握したいのか、スポーツ推進計画の達成度を把握したいのかでの判断になると思うが、コロナ禍の状況下でたとえば高齢者がどのように運動を行われているのか等を把握することは、将来への知見として大切なことだと思う。スポーツ推進計画に掲げる数値目標の中で「スポーツを行う施設や場所で、成人の10%以上が利用する施設や場所の数」など、コロナ禍の状況下で市民調査をするのがふさわしくない項目を除き実施すべきだと思う。</p>
(会長)	<p>従来通りの時系列での数値目標の達成度を把握するための市民調査ではなく、約1年半のコロナ禍で市民がどのようにスポーツに取り組んでおられるのか、というアンケートを実施してはどうかというご意見が多いように思います。私としても、コロナ禍で皆さんがどんな工夫をしてスポーツをされているのかといったアンケートは後年へのデータの蓄積といった観点や加古川市のスポーツ施策を検討する審議会として状況を把握することは意味があることだと思います。来年度については、中間評価に係る市民調査は延期することとし、別途コロナ禍でのスポーツ実施状況を把握するためのアンケートを行いたいと思いますが、よろしいか。</p>
(委員一同)	<p>賛成。</p>
(会長)	<p>市民調査は非常に質問のボリュームが多いので、コロナ禍でのスポーツ実施状況のアンケートは市民が答えやすいように設問をある程度絞って、また、実施方法についても、昨年の女性のスポーツ実施についてのアンケート同様、各施設の窓口でのアンケート用紙の配布やウェブを活用するなど工夫して行って欲しい。設問については、事務局で案を作成していただき、来年度の審議会にて委員の皆さんのご意見をお伺いしたい。</p>
4 報告事項	<p>(1) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に係る本市の取組結果について</p>
(事務局)	<p><事務局説明></p>
(委員)	<p>東京 2020 パラリンピック競技大会を契機として、小・中学校等におい</p>

	<p>て非常に多くの障がい者スポーツ体験会が実施されており嬉しく思う。できればそういった機会にスポーツだけではなく、車椅子の試乗なども行っていただけるとなお良いと思う。体験会にはひょうご障がい者スポーツ指導者協議会など実際に競技を行っている方々に来ていただくことも可能かと思うので、そういった団体とも連携しながら進めて欲しい。</p>
(委員)	<p>東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会で加古川市がツバルの陸上競技とブラジルのシッティングバレーボールのホストタウンとなっていたことから、小・中学生が選手たちとの交流など様々な機会があったのに、コロナ禍でオンラインでの交流になったのは非常に残念であった。</p>
(会長)	<p>東京パラリンピック競技大会のレガシーとして、今後も障がい者スポーツの推進については継続的に取り組んでいただきたい。</p>
(事務局)	<p>(2) 水上スポーツの取組について <事務局説明></p>
(委員)	<p>水上スポーツの取組として新たにカヌーを取り入れるということであるが、神戸では、障がい者レガッタが盛んであるので、従来からのレガッタも併せて力を入れて欲しい。</p>
(委員)	<p>加古川市には大きな川があるので、そういった地域の特性を活かした新たな事業は非常に良いと思う。</p>
(事務局)	<p>(3) 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について <事務局説明></p>
(副会長)	<p>社会人になって今振り返ると、中学校の部活動は先生方が休日を返上して指導してくださることで成り立っていたことに感謝している。中学生の子がいるが、平日の先生と休日の外部委託の指導者で指導の連携がどういうふうになるのか、また教育という観点からもどのように制度が変わっていくのか関心を持っている。</p>
(委員)	<p>今まで中学校の先生方がほぼボランティアで携わっておられることで、部活動が成り立っているのが日本の特徴であると思う。中学生の教師にな</p>

<p>(委員)</p> <p>(会長)</p> <p>閉 会</p>	<p>ると担当教科に関わらず、必ず部活動も教えないといけないということに無理が生じていると思う。少子化により、1つの学校でだけではチームを組めない競技もでてきている。時代の流れもあり、従来からの練習日数等も見直していく必要があるのかもしれない。</p> <p>制度が変わっていく中で、市として積極的に中学校の部活動を支援することが、優秀な選手やチームを育てることにつながり、子育てや医療費のように住みたい街を選ぶ一つの基準になるかもしれない。少子化の中で、人口を増やすための施策としても力を入れて取り組んでいただきたい。</p> <p>指導者として、全国の部活動の状況を見てきた経験から言うと、スポーツが盛んな市町村は、市の施策としてしっかりサポートをされているところが多い。ぜひ、人が集まり、子ども達がスポーツをして育つ環境が充実するような施策として欲しい。</p> <p>令和5年度から一律に全国で開始されることになるが、関係部署や団体などと協議をしながら、子ども達にとって良い部活動となるように取り組んで欲しい。</p>
------------------------------------	---